

和楽器の心地良い響きを実現 「桐」素材と「彫り」構造を応用して独自の音響技術を採用した スピーカーシステムとヘッドホンの開発に成功

当社は和楽器の心地良い響きに注目、素材や構造の研究を重ね、このたびその音響技術を応用したスピーカーシステムとヘッドホンの開発に成功しました。

古くから箏や琵琶などの和楽器に使用される「桐」素材の採用に加え、音の響きを良くするため楽器本体の内部に施される「彫り」構造を採用、スピーカーボックスやヘッドホンカバーに応用しました。また振動板には、平成 27 年 11 月 5 日に発表したセルローズナノファイバー（CNF）を採用、これまでにない自然で豊かな響きを実現しています。



「桐」素材と「彫り」構造を応用して独自開発したスピーカーシステムとヘッドホン

■開発経緯

日本人は古来より自然の音（風・波・川のせせらぎ・虫の声）に耳を傾け、侘び寂びという独特の繊細な美の感性を育んできました。振動板の開発から業務用スピーカーおよび民生用のスピーカー完成品まで、自社で独自開発している日本のオーディオメーカーである当社は、2016 年に創業 70 周年を迎えるにあたり、「和」の文化、価値観、美意識を認識し、和を追求したこれまでにないスピーカーシステムとヘッドホンを創りたいと考えました。和楽器の心地良い響きに着目して開発を開始、このたびその素材と構造を応用し、CNF を振動板に採用した製品の開発に成功しました。

■スピーカーシステムの特長



・スピーカーボックスの材料に「桐」を採用

「桐」は木材の中でも軽量で、音響変換効率に優れているため、心地よい響きのスピーカーボックスを実現することができます。

・スピーカーボックスの側板に「網状鱗彫り」加工採用

祭り用の和太鼓などに採用されている「網状鱗彫り」加工をスピーカーボックスに施しました。このことにより特に低音の響きが豊かになり、自然で心地良い響きを実現しています。また、ボックス内部の反射をコントロールするため、吸音材には中高域吸音特性に優れたシルク（真綿）を採用しました。

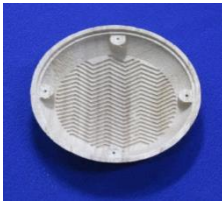
・CNF 採用振動板のスピーカーユニット



木材を原料とする繊維素材をナノレベルまで細かくすることで、鉄の5分の1の質量でありながら、鉄の5倍の強度を実現した「夢の新素材」ともいわれる最先端のバイオマス素材である CNF を、ウーファーユニットの振動板に採用しました。さらには、桐で出来たスピーカーボックスの心地良い響きを活かすため、日本の伝統である和紙の原料となる楮(こうぞ)も加え、音質の調整を行っています。

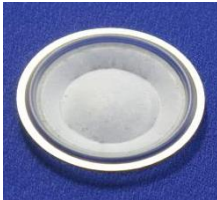
■ヘッドホンの特長

・ヘッドホンカバーに「桐」を使用し内部は「綾杉彫り」加工を採用



スピーカーシステムと同様に美しい響きを実現するため、箏や三味線などの和楽器の名器に採用されている「綾杉彫り」加工を施しました。

・100%CNF 振動板の新開発 50φmm 大口径ドライバー



ヘッドホンドライバーとしては世界で初めて※1 100%CNF の振動板を採用しています。これにより音の情報量が増し、抜けの良い高域再生が可能になりました。

※1：当社調べ

当スピーカーシステムとヘッドホンは、2016 年下半期より今後当社ブランドの製品化をはじめ、OEM 生産にも対応して、当社AV事業およびOEM事業の拡大を目指してまいります。

■本件に関するお問合せ先

オンキヨー株式会社 総務人事部 広報/IR 担当 辻

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2-2-22 TEL:06-6226-7343